

## 臨床検査技師グリーンノート 基礎編&臨床編 2nd edition

出版社：株式会社メジカルビュー社

文京学院大学大学院の芝紀代子先生編集の臨床検査技師グリーンノート基礎編&臨床編（メジカルビュー社）は2007年に発刊され、大変好評を得ていたが、その後2013年8月に改訂され2nd editionが刊行された。発刊されてから1年以上も経過するが、多くの人たちからその素晴らしい聞き及ぶことから、今回書評を書かせていただいた。

毎年2月末に行われる臨床検査技師国家試験合格に向け、学生は日々研鑽し、毎月のように行われる模擬試験の点数を伸ばすべく努力をしている。いつものことだが一生懸命行っているにもかかわらず、なかなか成績の伸びない学生がおり、勉強方法に関して良く相談を受ける。しかし、短時間で成果の上がる方法はなく、残念ながら時間が足りなく合格には至らないという結果になることがほとんどであった。そこでこのグリーンノート基礎編&臨床編を紹介したところ、本人の興味と努力も加わり、数ヶ月の間に急に成績が伸び国家試験合格に結びついたという経験をした。そのため以後は、必ずこの書を学生に紹介するようにしている。

基礎編は「解剖学」、「生理学」、「生化学」、「病理学」、「微生物学」、「血液学」、「免疫学」、「公衆衛生学」、「医学概論」、「医療リスクマネジメント」、「保健医療福祉総論」、「医用工学概論」、「情報科学」の13章で構成されている。また臨床編では「臨床病態学」、「病理検査学」、「細胞検査学」、「血液検査学」、「染色体検査学」、「医動物学」、「臨床化学検査学」、「核医学検査学」、「一般検査学」、「遺伝子検査学」、「微生物検査学」、「免疫検査学」、「輸血移植検査学」、「生理検査学」、「呼吸機能検査学」、「感覚機能検査学」、「画像検査学」、「検査管理学」、「精度管理学」、「医療情報学」、「検査機器総論」の21章で構成されている。基礎編、臨床編併せて34章からなり、国家試験出題範囲全てに対応している。各章とも5～21の項目に分かれており、始めに『ねらい』が記されている。ここには極めて重要な項目や国家試験出題頻度の高い項目が書かれている。穴埋め式になっているため知識の整理として使用できる。また所々に『豆知識』が書かれており楽しく勉強できる工夫もされている。『1st stage』では押さえておかなければならない基本的な事項を穴埋め形式にしてある。これらを十分理解した後、『2nd stage』へ進む。ここではさらにレベルアップした内容が同じように穴埋め式の問題となっている。両者とも重要な内容には太字になっていたり赤い下線が引いてある点も学生にとってはうれしい心遣いである。さらに各章の最後には演習問題があり、過去の国家試験問題が記載されており自分の実力を評価できるようになっている。

品質管理やリスク管理そしてISOのシステム管理に利用されているPDCAサイクルはPlan（計画）→ Do（実施実行）→ Check（点検評価）→ Act（処置改善）を行い、最後のActを次のPDCAサイクルにつなげ、さらにステップアップする方法である。まさにこの書はこのPDCAサイクルを実施するのに適した記載となっている。Doでは本書の『ねらい』で基本的事項の理解と記憶を行い、Checkでは本書の『1st stage』、『2nd stage』で点検をそしてActでは『演習問題』で改善に繋げるというものである。このように本書には優れたアイデアが満載である。おそらく学生が使いやすいとか知らない間に力がつくという感想が寄せられるのは、今までの書籍にはない本書の新たな構成方法に要因があるのではないだろうか。

このように本書は臨床検査技師教育において自己評価に使用できるばかりか国家試験の対策にも有効活用できる唯一無二の書といえよう。そのため多くの学生達に推薦したい本である。

（千葉科学大学大学院 三村邦裕）